

第 13 回有明地域医療構想調整会議に係る部会協議結果

1 部会開催日時

令和 6 年 2 月 19 日（月）19 時 00 分～19 時 30 分

2 出席者

別紙参照 出席者 12 名（委員 13 名）

3 その他の病院及び有床診療所の対応方針についての協議結果

有明保健所からの資料内容を部会にて確認。公的医療機関以外の病院・有床診療所の対応方針については資料内容に疑義は無かった。

4 非稼働病棟を有する医療機関について

対象医療機関：下川産婦人科医院

非稼働の時期：令和 2 年 10 月～

今後の運用の見通し：

玉名地域における産科体制は長年民間の 2 医療機関の尽力にて維持されていた。しかし、令和 2 年以降新型コロナウイルス感染症の流行に伴う医療を取り巻く社会情勢の変化や地域人口減少等に伴う医療従事者の確保困難に拍車がかかり、令和 2 年度以降医師・看護師の確保が困難となり休床がやむを得ない状況が継続している。

しかしながら、将来的な玉名の産科体制の維持のためにも産科診療を継続する方法を模索中である。

また、下川産婦人科医院は菊池川の氾濫や熊本地震における状況のハザードマップ上、災害時においても比較的安全な場所に立地している。玉名地域では菊池川氾濫時において災害拠点病院であるくまもと県北病院周辺の浸水が予測される状況から、ハザードマップ上安全な場所に位置する下川産婦人科医院が災害時における緊急避難的な病床として機能することが期待される（令和元年に在宅医療介護事業並びに玉名地域在宅医療サポートセンター事業の一環で在宅の後方支援機能や災害時における在宅療養者の避難病床として活用する協定は医師会と締結済み）。

上記をもって玉名郡市医師会地域医療構想検討部会においては、満場一致で下川産婦人科医院の病床維持を意見する。